

ドイツ連邦食料・農業省プレス公告  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 13

NO 13

2015・3・28

1 連邦農業大臣：北京でドイツー中国農業センターをオープン

ドイツー中国農業センター（DCZ）のオープン並びに食料安全の分野における共同活動のための声明署名は、2015年3月21日から24日までの、連邦大臣シュミットの中国旅行の中心点であった。シュミットは、北京で副首相 Wang Yang、農業大臣 Han Changfu、輸入大臣 Zhi Shuping そして食料安全大臣 Bi Jingquar と会談した。

**ドイツー中国農業センター（DCZ）**

連邦大臣シュミットと中国の農業大臣 Han による、DCZ の2015年3月23日のオープンでもってドイツと中国は、互いの農業関係の新しい章のページを、切り開いた。このセンターは、対話の基盤として中心的な政策、科学、経済であり、そしてドイツと中国の間の農業ー食料分野における、双方向的に中心的な試みー情報ー共同調整センターとして役立つ。

またこのセンターは、両国の政策的、経済的決定の担い手のために、助言ーネットワーク提供でもって、中国農業の近代化への貢献と、食料安全のための挑戦克服に、役割を果たす。”我々は、特別に計画されている研究でもって、中国側のパートナーと密接な共同活動を望んでいる”と、シュミットは述べた。これは、特に害虫の駆除の分野に該当する。

2015年夏に、サクランボを食害するミバエ防除のための、専門家会議が計画されている。これは、有機産物ないし持続的な家畜飼育証明書のためにも、有効である。”我々は、規準を策定する際に家畜保護に関しても、話し合うことを避けて通れない”と、シュミットは続けた。

ドイツの消費者は、持続的な生産方法に大きな価値をおいている。例えば、綿毛とアンゴラヤギ毛について、中国が重要な貿易パートナーになる時に。魅力的に成長する市場における有機産物は、實際上高度で持続的な水準によって生産されることが、さらに将来においても信頼されねばならない。”我々は、有機栽培における経験とノウハウでもって、中国のパートナーを支援する。その際、輸出のために決められ、そして重要であるのは有機一産物の証明である”と、シュミットは強調した。

ドイツ連邦農業大臣シュミットと中国食料安全大臣 Bi jinquan との 2015 年 3 月 24 日北京での会談の中心テーマは、食料の安全政策における両国の共同活動である。この会談において両大臣は、連邦農業省と中国の食料—薬品監視省（CFDA）との間の、共同活動に関する共同企画声明に署名した。この声明の中心点は、リスク管理とリスク情報伝達並びに管轄機関との結びつき、情報—経験交流に関連する法策定と監視である。

協定の署名に際して、連邦大臣シュミットは、強調した：“我々は、現在食料の安全に関する中国管轄機関とのネットワークである。ここには、我々がこの協定をより良く理解しあえるために、中国における様々な管轄機関と話し合えるパートナーが存在する。困難に遭遇したときに、この協定を早急に現実化するためにも”と、シュミットが強調した。特に乳幼児用粉ミルクについて両国が、最も高い安全規準を認め、そしてドイツの製品提供者のために中国市場を、オープンすることである。

## **農産物の貿易**

副首相 Wang Yang との会談においてシュミットは、食料の安全性と食料規準に関する対話フォーラムについて PR した。同時に両国のトップ政治家が、合意する高い基準への理解が求められる。”両国の消費者は、高品質性と食料の安全を望んでいる”と、シュミットが述べた。Wang は、中国が農産物の貿易のために市場を開いていることを説明し、そして中国市場として提供する大きな可能性を指摘した。ドイツと中国の農業分野は、良く補完しあえる。輸入大臣 Zhi Shuping と共に連邦大臣は、馬とペットの飼料の中国への輸出に関する貿易合意にサインした。

シュミットは、Zhi との会談において貿易障害の除去に、尽力することとした。” 貿易は、一方通行でない。ドイツ産物の輸入は、簡素化されねばならない” と、シュミットは述べた。特に連邦大臣はドイツのりんごのために、中国市場の開放に力を入れ、果物、野菜そして他の作物産物の分野で、ドイツー中国の共同活動を拡大するための目的を、Zhi 大臣と合意した。

### **ドイツー中国の共同活動**

農業分野におけるドイツー中国の共同活動は、副大臣レベルでの農業ー食料政策並びに他の双方専門委員会と双方作業グループを、制度化する。2014 年以降、両国の農業大臣は双方の対話のために、ドイツー中国政府間交渉を開催してきた。2014 年 10 月ベルリンでの第 3 回ドイツー中国の政府間交渉に際してシュミットと Han は、農業分野における「2015 ー 2020 年ドイツー中国共同活動のための戦略プラン」に署名した。2015 年 3 月北京でのドイツー中国農業センターのオープン後、両大臣は 2015 年秋に農業政策上の対話継続に合意した。その際を中心テーマは、全体の食料ー生産チェーンにおける、持続性と品質確保である。

## 2 連邦大臣シュミット：持続的な森林管理が将来を創る

### ー国際森林デーに際してー

” 今日（3 月 25 日）は、森林の国際デーである。我々の生活は、森林無しであり得るか？” この問いかけでもって連邦大臣シュミットは、森林の国際デーに際して、森林の重要性と多面的な機能について指摘した。” 持続的な森林管理によって、我々の将来が創られる。森林に対する多種多様な社会的要請を、互いに調和させることが重要である” と、シュミットが強調した。

” 人々は、森林をこれまでも活用してきた。木材は、原料、建築用材そして燃料として不可欠であった。それは現在も同じである。私たちの誰もが、毎日材木と他の森林産物を使用している。それも無意識のうちに、しかも頻繁に” と、シュミットは述べた。木材は、我々の重要な持続的原料であり、そして優れた生態系のバランスシートを有している。さらに大臣は、次のように指摘している：この長所を活用したい者は、木材で建物を建て、持続的な林業について肯定し、森林の生態系要素を、過小評価してはならない。

森林産物のみならず、森林機能は我々の生活に不可欠である。森林は、我々のために重要な保養空間であり、そして動植物の生存圏でもある。さらに森林は、酸素の生産と炭素の蓄積のために大きく貢献し、そして全体的な水循環の中で、決定的な要因となっている。森林の樹木は、太陽光そして大気の中の炭素から、植物体と木材を生産する。

連邦森林現況調査は示している：ドイツにおける森林は、大気中で年間約 5,200 万 t の CO<sub>2</sub> を軽減している。これは、大都市ハンブルグとベルリンの 1 年当たりの CO<sub>2</sub> 放出量よりも多い。なお多く：木材でもって、特にエネルギー集約的な原料と化石燃料に代替えする。その際、気象を損なう CO<sub>2</sub> 一放出を阻止する。そのため、持続的な森林管理と地元産木材の利用は、気象保護に積極的に貢献する。” 森林管理の基本は、依然として「利用を通じての保護」であり、それが今も課題となっている” と、シュミットが述べた。

森林は、国における最も大きな気象保護者である。そのため、連邦政府は 2013 年に森林基金を創設した。この基金は、ドイツの森林が気象変動に対してより良く準備することを支援し、同時に持続的な森林管理と木材利用によって、気象保護効果を強化する。” 国際森林デーは、世界の森林についてじっくりと考えるきっかけである” と、大臣が続けた。多くの国の森林管理が、持続性に欠けている。そこでは、違法な樹木伐採と無秩序な森林転換によって、林業の発展（ドイツで経営されているような）のためのチャンスを、駄目になっている。

そのため、連邦政府は違法伐採に反対する国際協定に、参画している。違法に伐採された木材の販売は、2013 年以来禁止されている。連邦大臣シュミットは、さらに消費者に木材一紙製品の購入決定に際して、PEFC または FSC のような、一般に認められているシールで情報を得ることをアピールした。

### **補足情報**

1 m<sup>3</sup>の木材に関して、森林樹木は 1 t の炭素二酸化物を、大気の中から取り去る。またその樹木から 750kg の酸素が生産され、そして 250kg の炭素を固定する。

3 今週の数字：ドイツ人は、年間平均して**24切れの魚**フライを  
食べている。

同時に消費者は、合計 584,925 の魚フライ片の総販売量を、購入している。これは、アイフェル（訳注：ライン河左岸の高原）塔の重さの6倍強に相当する。2013年にドイツにおいて、110万t弱の魚漁獲量が消費された。国民1人当たり約13.5kgの魚を消費している。ドイツ食料協会（DBFE）は、基本的に1週間当たり2回の魚消費を推奨している。その際、産物に対して一般的に認められている持続的な生産に、配慮すべきである。

2015・4・11 訳  
青森中央学院大学  
中川 一徹